

ICTを活用したコロナ禍で特に影響を受けている貧困世帯の子どもへの 質の高い教育機会提供事業 総事業費 5,073,152円

事業者名：株式会社教育情報サービス
(所在地：宮崎市)

事業の内容

事業目的・概要

- 現在、新型コロナウイルスの影響により多くの家庭や企業が経済的に打撃を受けたが、最も打撃を受けたのは貧困世帯である。
- そのため、政府がいくつかの支援策を行っているが、コロナの影響による生活苦に対する一時的な支援であり、貧困の根本解決には至らない。貧困は親から子への連鎖するため、その連鎖を断ち切るために、子どもが比較的安定した高収入の職業につく必要があり、そのために国公立大学への進学、引いては進学校の高校への進学を目指す必要がある
- ポストコロナ時代の課題解決実証事業するには、コロナ禍において遠隔地も含めた貧困世帯の子どもに受験指導を提供できるよう、宮崎大学とNPO法人Swing-Byと連携しオンラインによる受験指導を実施。以下、詳細。
 - ① オンデマンドのeラーニングシステムによる指導
 - ② 宮崎大学教育学部生等によるリアルタイム遠隔指導
 - ③ コミュニティ形成と教え合い

実証フィールド

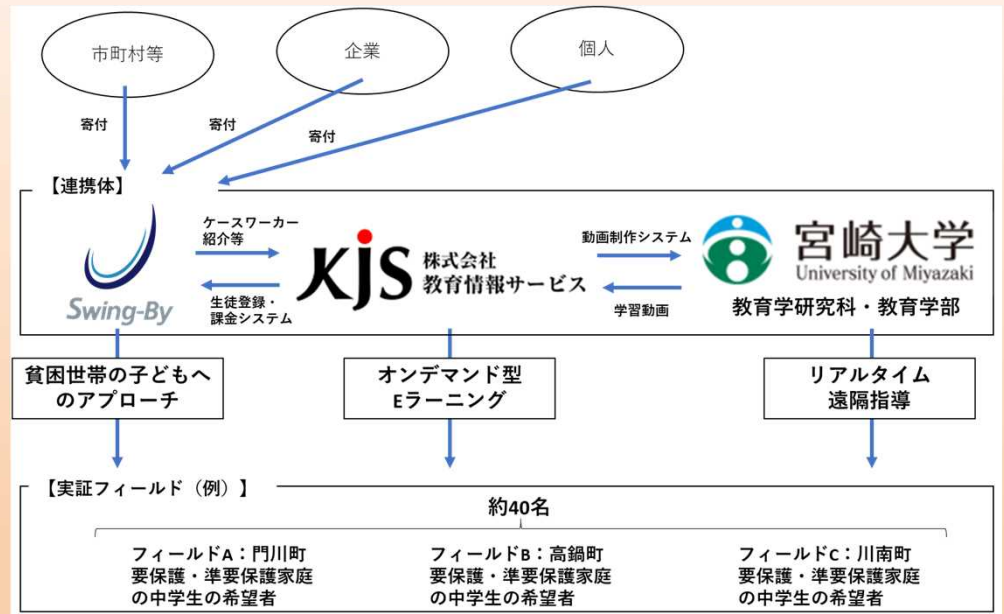
- 児湯地域の受講希望の中学生

本事業の目標

- ① (今年度) 中3が目標高校に合格、中1・2は学校の定期テストの順位が上がること、対象教科95点以上、学年1桁順位
- ※最終的には県内全域ならびに他県への展開を想定

事業スキーム等

県の補助金を活用し、産官学連携での貧困世帯の子どもを支援し、
貧困の連鎖を断ち切る事業モデルを構築



実証終了後、県内全域への展開や県外への展開を狙う



Point ~ここが新しい~

今までは指導場所にて対面で指導していたところを、少ない容量で通信できるオンライン教育環境を構築することで、多様な児童生徒も支援を受けられる形を実現